

まち・ひと・しごと創生

# 椎葉村総合戦略（素案）



平成 27 年 9 月

椎葉村

# 目 次

I	基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	基本目標と基本的方向・・・・・・・・・・・・	3
(1)	基本目標①・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	【村民が「いきいきと働けるむら」を創る】	
(2)	基本目標②・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	【世界中を「魅了するむら」を創る】	
(3)	基本目標③・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	【子どもたちが「健やかで笑顔溢れるむら」を創る】	
(4)	基本目標④・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	【時代に合った「住み続けたいむら」を創る】	

# I 基本的な考え方

## ■趣旨

過疎や高齢化の波にのまれ、素晴らしい田園風景や伝統文化、人の営みといった古くから築き上げられてきたものが日本各地で失われつつある。こうした状況に対し、椎葉村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、椎葉村が将来に向けて世界に誇れる「日本の美しい村」でありつづけるために、人口減少が進む社会情勢を踏まえ、長期的な基本方針と短期的な具体的施策の策定を行い、まとめたものである。

## ■総合戦略の構成と計画期間

総合戦略は、「第5次椎葉村長期総合計画」、「椎葉村人口ビジョン」等を踏まえ、政策目標の実現に向けた4分野の施策をとりまとめたもので、計画期間は平成27年度から平成31年度までの5カ年間とする。

政策4分野については、5年後の実現すべき成果に関する数値目標を設定するとともに、政策分野を構成する具体的施策については、効果を客観的に検証できる重要業績評価指標（KPI）を設定する。

## ■総合戦略の取り組み体制とフォローアップ

総合戦略は、各施策を実施すると共に、「地域経済分析システム」による経済分析や国勢調査の結果などを踏まえ、その効果検証を総合戦略会議で検証を行い、改善や必要な見直しを行っていく仕組み（PDCAサイクル）を確立する。

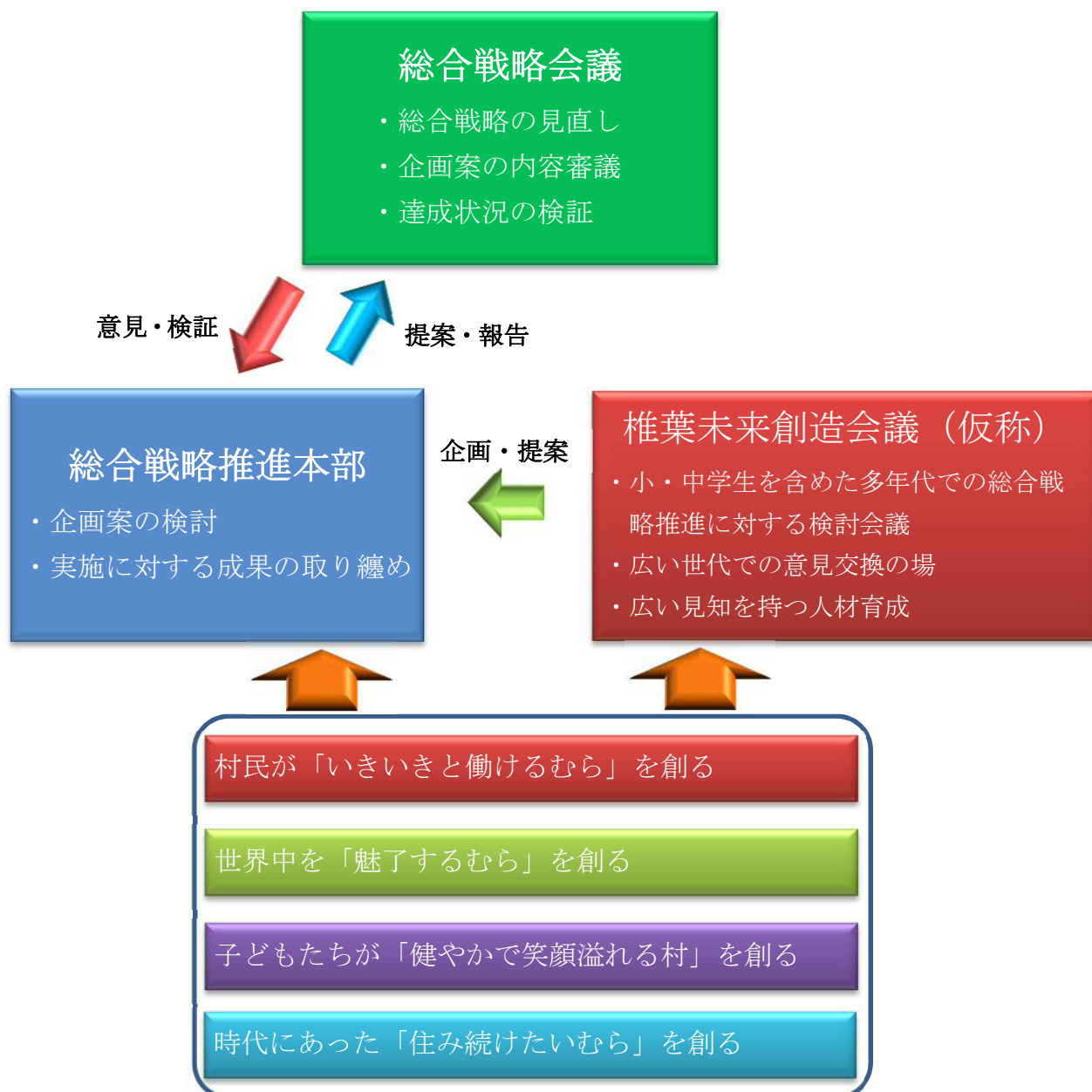
また、施策の推進に当たっては、地方創生に関する各種事業や地方創生コンシェルジュ制度などの人的支援制度を含め、国の支援制度を積極的に活用していくと共に、行政や住民、事業所、様々な団体等で広く意見を交わし、それぞれが主体性を持った上で課題解決に向けて協働して活動に取り組んでいく事が不可欠である。

### <策定及び効果検証、改善施策の検討>

椎葉村総合戦略の策定及び一定期間での定期的な効果検証とその結果を踏まえての改善施策の検討は、村民の様々な立場の代表者や外部有識者で組織された「総合戦略会議」で行っていく。

### <重点プロジェクト推進体制>

総合戦略の基本目標を重点プロジェクトと位置づけ、村民を中心としたメンバーで組織される「椎葉未来創造会議（仮称）」による事業の立案、具体的実施の検討などを行う。



## Ⅱ 基本目標と基本的方向

椎葉村の人口減少に歯止めをかけるために、4つの「基本目標」とそれに附属する具体的政策を策定し、取り組んでいくものとする。

### 村民が「いきいきと働けるむら」を創る

- ・地域資源を活かした産業振興と創業支援
- ・農林畜産業振興支援

### 世界中を「魅了するむら」を創る

- ・地域資源を活かしたブランド力の強化と観光振興
- ・「U・Iターン」の促進

### 子どもたちが「健やかで笑顔あふれるむら」を創る

- ・結婚・出産に対する支援の強化
- ・子育てしやすい村づくりと魅力ある人間の育成

### 時代に合った「住み続けたいむら」を創る

- ・主体的地域づくりの推進
- ・持続可能な社会の構築

## 基本目標① 村民が「いきいきと働けるむら」を創る

椎葉村の人口動態の特徴として、中学校卒業後に離村してからの帰村率、とりわけ女性の帰村率が低い事が挙げられる。こうした事から、基幹産業である農林業を中心とした様々な産業への新規就業者へ対する受け入れ体制の充実や、「半農半X」といった他の業種との兼業を行いやすい環境づくり、更に、個人や少人数での起業が行いやすい体制整備が必要であり、特に女性が魅力に感じる就業の場の確保が重要である。

このため、現在ある産業を含め、様々なジャンルの業種の起業を興しやすい環境づくりを構築し、村外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を作り出し、持続可能な村づくりを図っていくものとし、子どもや若者が明るい未来を描く、希望にあふれた魅力ある村を創造する。

### 【数値目標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
新規農林業就業者数	平成 31 年度末までに延べ 10 人

### 【具体的施策①】 地域資源を活かした産業振興と創業支援

椎葉村には、恵まれた自然環境による地域資源が豊富にあり、その掘り起こしとブラッシュアップ、人材育成、交通アクセスなどの環境整備による産業の振興と新たな創業への支援を行う。

#### 【施策内容】

##### 1. 地域資源を活かした特産品の伝承と掘り起こし

椎葉村の地域資源を活かした特産品で優れた物が多数あるが、生産者の高齢化により、製造の継続が困難となる事が危惧されている。こうした製品の伝承と新たな特産品の生産・販売体制の強化を図ることにより、収益性の高い産業の育成を目指す。

##### 2. 椎葉村の資源と自然環境、ネットワークインフラ等を活かしたテレワークなど遠隔地でも就業可能な職場の確保

恵まれた自然や、全世帯に敷設された光ファイバー網などの環境をセールスポイントとした、遠隔地でも就業可能なネットワークインフラを活用した職場

や新たな起業の創設、サテライトオフィスの誘致などを図り、雇用の確保を目指す。

【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
新たな特産品開発や既存商品のリバイバル数	平成 31 年度末までに 5 品目

**具体的施策②** 農林畜産業支援

椎葉村の基幹産業である農林畜産業は、担い手の確保が喫緊の課題となっている。このようななかで、移住希望者からは就業の場として農林業のニーズも高いことから、新規参入者への支援体制の整備を図る事が必要とされる。

【施策内容】

1. 農林畜産業の担い手を育成する体制の構築

高齢化する農林畜産業の担い手対策と、遊休農地や山林などを有効に活用する体制を構築するとともに、国・県の研修制度の上乗せ支援や、独自の研修制度、新規参入の支援など、就業に向けた支援を行う。

2. 農林畜産業生産基盤の充実

椎葉村の地理的条件を活かした野菜・花き、椎茸栽培の促進を図るため、ハウスや共同選別場の整備を行い、新規参入については、初期投資を抑えるため、施設整備にリース事業を導入するなど就業体制の構築を図り、産業基盤の充実を図る。

また、経営コストの低減のための路網整備や機械整備の支援を行う。

このほか、不足が懸念されるスギ等の苗木生産のため、技術の習得と遊休農地等を活用したほ場整備、優良品種の穂木確保などを行うとともに、増加する獣害への対応等も併せておこない、経営の安定化を図る。

【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
農林業の担い手を育成する研修の受講者数	平成 31 年末までに延べ 20 人

## 基本目標② 世界中を「魅了するむら」を創る

総合戦略の基本目標である「地方への新しい人の流れをつくる」を目指し、都市化する日本や世界において、守るべき「美しい村」を創りながら、数多くの地域資源を活かし、その魅力を広く発信する事で、本村への人の流れをつくり出すと共に、将来的な移住・定住につなげていく。

### 【数値目標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
観光入り込み客数	平成 31 年度 135,000 人

### 【具体的施策①】 地域資源を活かしたブランド力の強化と観光振興

椎葉村の自然や伝統文化は、都市部住民や外国人にとって大きな魅力であり、更に新たな価値を創造、付加する事で、今後も更なる発展へと繋げていく。

さらに、この魅力を全世界に発信していく事で、外国人旅行者を含めた誘客を図ると共に、受け入れ体制の整備を行っていく。

その実現のために、行政や観光協会、関係事業者だけでなく、農林業などの異業種や観光に関係なかった人々も含めた、地域をひとつの集客装置とし観光集客を推進する体制（DMO）を構築していく必要がある。

### 【施策内容】

#### 1. 歴史・文化を核としたインバウンド観光の推進

椎葉村の神楽などの伝統文化や独自の歴史などの魅力を海外からの旅行者に発信すると共に、インバウンド観光への対応の環境整備を行い、新たな観光分野の振興を図る。

#### 2. 自然環境や風土を十分に活かした観光地域づくりの推進

恵まれた自然環境を満喫できるような観光商品の開発、環境整備を図り、滞在型の観光商品を創り出すと共に、村外から入りやすい交通網の整備を併せて行う。



### 3. 自然・文化など秘境の魅力を残す環境づくり

豊かな自然や文化などを更に魅力あるものにするために、景観に配慮した森づくりや伝統文化の継承・情報発信など秘境と言われるこの村を更に魅力あるものにするために、村民だけでなく村外から企業や大学も含めた外部からの協力を得ながら環境を整備する。

#### 【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
地域資源を活かした観光ツアーの実施	平成 31 年度末までに 50 回

#### 具体的施策② 「U・Iターン」の促進

椎葉村の人口ビジョンでは若年層のU・Iターンが最重要のテーマである。こうしたことから、椎葉村への移住・定住に関心がある人に対して、必要な情報をわかりやすく提供する情報提供体制の整備と、移住後のフォローアップなどを行う受け入れ体制の整備を進めるとともに、本村出身者へのアプローチや居住環境や就業の確保を含めて、本村への移住・定住を促進する。

#### 【施策内容】

##### 1. 移住促進と移住後のフォローアップ体制の整備

地方への移住希望者への情報発信を積極的に行うと共に、農地・山林・家屋・店舗など管理者不在で遊休状態にある情報を一元的に把握し、移住や起業などの希望者への情報提供、ニーズが高い有機農業や森林に関する学習を行う体制の構築、お試し滞在施設の整備などにより、椎葉村を候補地として選ばれる環境整備を行う。

また、椎葉村に移住した際への居住地域住民等との繋ぎや、移住者同士の交流による情報共有などを行う事によるフォローアップを行う。

##### 2. 定住用住居の確保

若年層などの定住を促進するために、独身者向けの住居の整備や村営住宅の入居資格の設定見直し、店舗などを併設した大規模な住宅団地の整備を行う。

### 3. 就業への積極的な支援

村内の就業先の確保を積極的に行うと共に、移住者や村内出身者への情報提供を行い、U・Iターンの促進を図る。村内出身者へは、定期的に椎葉村の情報を発信する共に、同窓会などを活用した交流促進を行う事により、帰村の意識を向けるといった取り組みを行う。

#### 【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
平成 31 年度末までの移住者数	延べ 20 人
20～29 才の女性のUターン率	平成 31 年度末時点 30% (平成 27 年度時点 18.1%)

## 基本目標③ 子どもたちが「健やかで笑顔溢れるむら」を創る

椎葉村の人口動態は子育て世代、とりわけ女性の人口が極めて少ないことから、少子化対策を図る上では、子育てを観点とした対策が重要である。

本村の合計特殊出生率は、国や県と比較すると高い数値であるものの、全国的に見てみると特に高い数値ではない。

また、50歳未満の女性が減少している事から、出生率が上昇しても、出生数が大きな伸びには繋がらないため、子育て世代に選ばれる魅力ある村づくりを行う事が重要となる。

若者や子育て世代、とりわけ女性の人口動向は今後の本村の人口構造を左右する大変大きな問題であり、様々な面からのアプローチが必要である。

### 【数値目標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
合計特殊出生率	平成 31 年度時点 2.0

### 具体的施策① 結婚・出産に対する支援の強化

結婚・出産に対する支援の充実を図る事により、次世代へ繋ぐライフステージの入り口である結婚へのサポートや安心して子どもを産める環境を創る。

#### 【施策内容】

##### 1. 結婚サポートの充実

婚活運営会社との共同による出会いの創出を行うと共に、セミナーなどによる結婚への意識改革や、定期的な情報提供を行い、アプローチを強化する。

##### 2. 不妊治療や妊婦健診などへの支援の充実

不妊治療や妊婦健診で、国や県の支援外となっているものや椎葉村の地理的条件から負担となっている通院などへの支援を行う。

### 【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
婚姻数 (結婚祝い金交付実績による)	平成 27～31 年度 50 件 (平成 22～26 年度実績 37 件)

### 具体的施策② 子育てしやすい村づくりと魅力ある人材の育成

ゆとりをもって子育てが行える環境を整備する事により、「子育てしやすい村」として選ばれる村を目指す。

また、子どもたちが自分の将来に対して様々な選択肢を持てるような教育環境を整え、夢を実現させるための支援を行うと共に、郷土を愛する心を育み、椎葉村を担う人材として育てる取り組みを行う。

#### 【施策内容】

##### 1. 保育施設の充実や、子育て支援及び環境の整備

3歳未満の保育環境を整備することにより、仕事と育児の支援を行う  
また、子育て相談や、親子が楽しめる環境の整備を進めていく。

##### 2. 多様な人材の育成のためのキャリア教育と人材交流の推進

将来を夢描き、実現を目指す人材を育成するため、様々な体験や考える力を養う教育を、村内のみならず県内外、海外の学校や企業や大学など幅広い範囲において協働により行う。

また、ICT等を活用し大学等の研究機関との人材交流や海外からの留学を受け入れるなどグローバルな教育環境の整備を目指す。

##### 3. 特色ある学校教育の推進と教育環境の整備

本村の歴史・文化・自然などの独自の環境を活かし、都市部からの山村留学を受け入れるなど、交流人口の増加と就学児童の増加による学習環境の改善を図り、特色ある教育の推進を目指す。

##### 4. スポーツ環境の充実と体力向上支援

体力やスポーツ技術の向上を図るため、施設整備や指導者育成、プ

ロ・アマ合宿誘致など多様なスポーツにふれあう機会を創出し、スポーツ力向上を図り、県大会や国体等で活躍できる選手の育成を目指す。

【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
仕事と育児の両立が叶えられる体制の整備	3歳未満の待機児童数 平成31年度末時点で 0人
帰ってきたいと思う中学生の割合	平成31年度末時点 80% (平成27年時 64%)
外部との連携によるキャリア教育と人材交流の実施	平成31年度末までに10回
国内外の学校との交流	平成31年度末までに15回
村外からのプロ・アマのスポーツ合宿等の実施	平成31年度末までに15回

## 基本目標④ 時代に合った「住み続けたいむら」を創る

椎葉村の「美しい村」がいつまでも持続し、人々が安心して暮らせる社会環境をつくり出す事が必要である。

本村では、「かて〜り」の精神により、現状の暮らしを更に充実させる事を目指しているが、人口減少や時代の変化の潮流に対応し、発生する課題に対峙し、さらに安心して暮らせる明るい未来を切り開く村づくりを目指す。

### 【数値目標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
地区計画の見直しおよびそれに基づく具体的な取り組みの実施	平成 31 年度末までに 10 地区

### 具体的施策① 主体的地域づくりの推進

#### 【施策内容】

#### 1. 自主的地域づくりへの取り組み

地域住民が地域の将来を自ら考え、行動するための地区計画の策定やその実施に対し支援を行い、自主的な地域活性化への取り組みを促す。

#### 2. 将来を見据えた地域のあり方の検討

人口が減少する地域において、それぞれの状況に応じた地域形成を構築するコンパクトビレッジに向けて、地域の合意形成を進めるために全般的なサポートを行う集落支援員などの人的支援等も併せて行う。

#### 3. 外部からの支援を積極的に活用する

地域が抱える課題解決のため外部からの支援を積極的に活用していくため、大学のインターンシップや研究、企業の研修などを受け入れる体制整備を図り、住民との交流や人材育成、地域活性化を図る。

### 【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
大学、企業等を含めた外部人材活用による地域活性化への取り組み	平成 31 年度末までに 10 回
地域おこし協力隊の導入	平成 31 年度末までに延べ 10 人

## 具体的施策② 持続可能な社会の構築

### 【施策内容】

1. 村内で生み出される恵みの地域内活用の推進  
椎葉村の資源である木や水などを活かしたエネルギーの活用、地域内で作られている作物の地域内流通体制整備など、循環型の村を目指す。
2. 近隣および同じ理念を持つ自治体との連携  
医療や教育など近隣市町村との連携により充実した住民サービスが提供できる事業に対して積極的に連携をとっていくとともに、「日本で最も美しい村」連合など、同じ理念を持つ自治体との連携・情報共有を強化し、施策の強化を図る。
3. 高齢者をみんなで支える社会づくり  
一人暮らしや高齢者のみの世帯を支援する体制構築や老人福祉施策の充実など高齢者を支える社会づくりを行う。
4. 防災に優れた村づくり  
人口減少と高齢化が進む状況である事から、有事の際の村民の生命・財産を守る消防団を中心とした防災体制を、人材確保などを含め長期的な視点から椎葉村独自の防災体制の検討を行っていく。  
また、避難路や集落間を結ぶ接続道の整備をはかり、有事の際の住民の安全を確保する。

【重要業績評価指標】

指 標	重要業績評価指標(KPI)
他自治体等との連携事業の実施	平成 31 年度末までの新規事業 10 事業
集落支援員の配置	平成 31 年度末時点 3 人
地域内の移動手段としての地域内運送体制整備地区数	平成 31 年度末までに 2 地区